

393-756



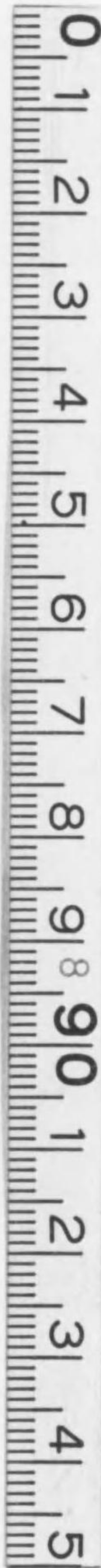
1200501462606

393

756

東亞研究講座
第二十輯

支那語中の西洋語



始





39

75

文學博士 中村久四郎著

支那語中の西洋語

近世支那傳來西洋語漢字音譯語彙

東亞研究講座
第二十一輯

東亞研究會發行



文學博士 中村久四郎著

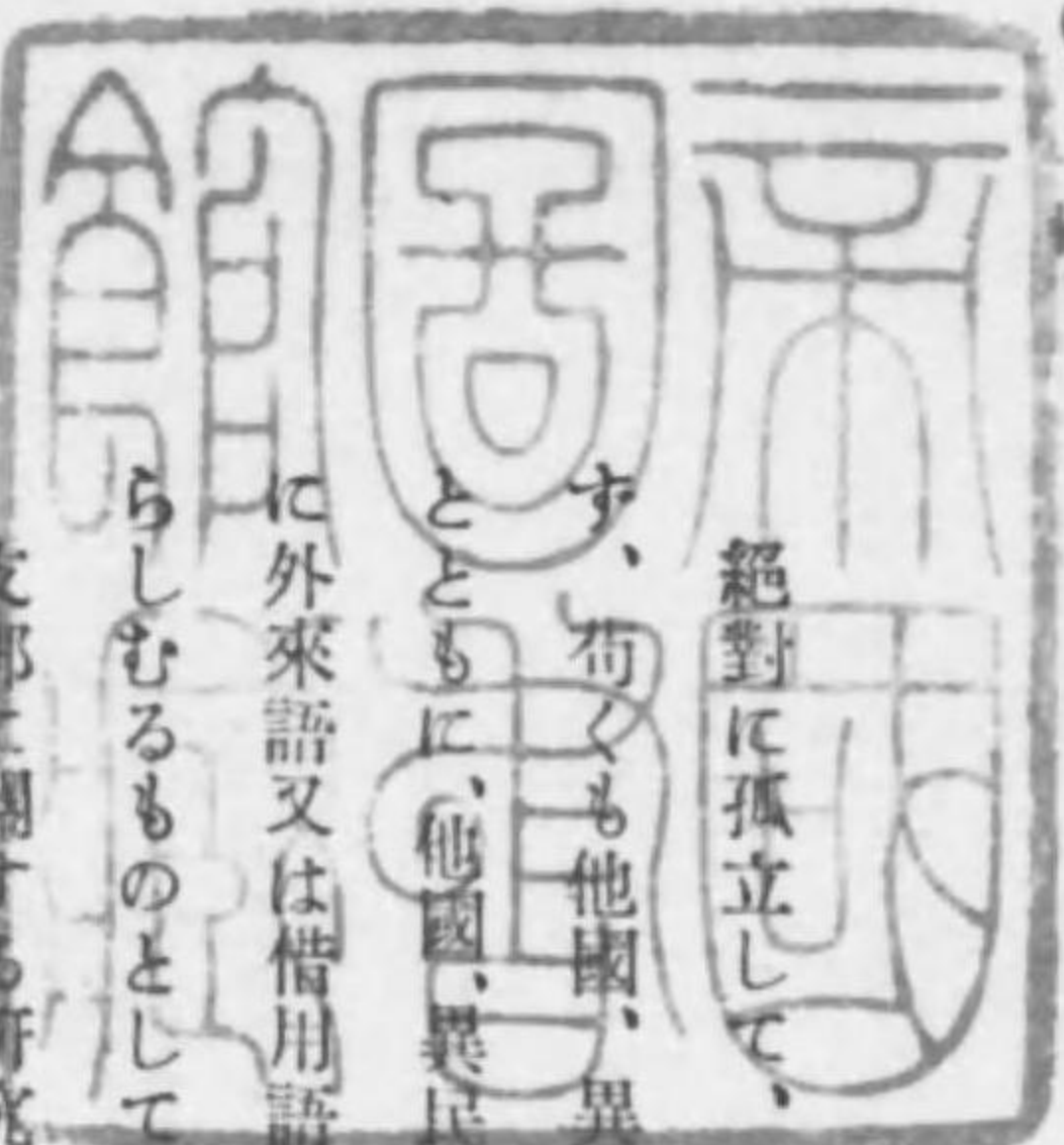
支那語中の西洋語

近世支那傳來西洋語漢字音譯語彙

東亞研究講座
第二十輯

東亞研究會發行





支那語中の西洋語

近世支那傳來西洋語漢字音譯語彙

文學博士 中村久四郎

絶對に孤立して、他國、他民族と全く何等の直接、間接の交通、交渉なき國民ならば、いざ知らず、苟くも他國、異民族と何等かの交通往來關係をもつて居る國の言語には、他國、異民族の文物とともに、他國、異民族よりの外來語が混合されて居て、大概の國の字書には、本國の固有語とともに、外來語又は借用語の記入が少くない。又それは本國の文化をよく豊富に、より複雑に、より多變ならしむるものとして意義がある。

支那に關する研究についても、經書、子書や詩文集を讀む間には、漢語以外の外來語又は借用語に接することは、先づ少いといつてよろしい。

けれども、一度歴史、地理の書籍を讀み、特に支那と諸外國との交通史を研究する時、又は近世

及び現代支那の著述や新聞雜誌等を読む時は、漢語以外の外國語に接することが頗る多い。

上古より支那と交通したる土耳其人、蒙古人等其他の近く支那と接壤して居る土地の諸外國語の古代の支那史料に記されてある者は勿論、近古以來始めて支那と盛に直接の交通を開いた遠西の西洋諸國よりの外來語も、その數は決して少くない。是等の支那に於ける外來語は、やがて凡て支那に於ける外來文化の研究資料たるとともに、現代の支那の新聞雜誌等を読む場合にも必要なもので、之を瞭解しなければ、新聞記事も不明となるのみならず、それ等の外來支那語を轉載せる日本の新聞雜誌の記事さへ不可解となるのである。東京のある大新聞に、先年「東西新聞大會」の記事を載せてある中に、「京津泰晤士報の記者……氏……云々」と記して、泰晤士に「たいごし」と振假名をしてあつた。「たいごし」では、何だか不明である。是れは Times の漢字音譯で、「泰晤士」又は「太晤士」と音譯したのもあり、「たいむす」と振假名すべきものである。又支那新聞の商業記事中に「先令市價」とあり、其中に「先令」とか、「辦士」などの名がある。「先令」は英語の Shilling 辦士は又英語の Pence の音譯である。其他「可々粉」は Cocoa 粉、「雪茄」は Cigar 「珂羅版」は Colotype 版である。かういふ種類の外來支那語は近來中々多し。

自分は先年、「西洋に傳はりたる東洋の言語について」と題する愚見を「史學雜誌」第十六編第六、八兩號(明治四十一年)に載せ、又「唐音考」正續二篇を同雜誌第二十八、九兩編(大正六、七年)に載せた。是等は共に近世支那語の我國及び西洋に傳はつた史實によりて、聊か近世支那文化研究の一端としやうとしたものである。

今茲に記さんとする者は、近古以來支那と盛に直接交通した西洋諸國語の支那に傳はつたものの漢字音譯語彙である。前者は近世支那語が支那以外の諸國に傳はつた事を知り、後者は近世諸外國語の支那に傳はつた事の一部として見るべきもので、兩者併せて近世支那文化研究の一部をなすものである。少くとも言語より見たる近世支那文化研究の一端となるものである。こゝに「近世諸外國語の支那に傳はつた事の一部」といふのは、近世支那には西洋語の外、我が日本語が随分多く傳はり、制度法律其他の學術語が日本留學の支那學生諸氏によりて支那へ傳はつたもの頗る多く、又「取締」「矢張」などの日本語が支那の新聞の雜報や、雜誌の記事中に記されてあることは、既に約十年も前から事なので、西洋語の近世支那への混入は、實際「近世諸外國語の支那に傳はつた事の一部」分であるからである。

今回左に列挙したる西洋諸外國語の漢字音譯の数は、合計二百八十四である。この外に一般外國的形容詞の狀あり、又外國の通稱といふべき「胡」の字、「番」(蕃)の字、「洋」の字を冠した西洋諸外國貨物等の名稱、例へば、

- | | |
|-------------|-----------------|
| 胡 琴——西洋の四絃琴 | 番 銀——メキシコ弗 |
| 番 茄——トマト | 番 瓜——西洋南瓜の一種 |
| 番 紮——フランネル | 洋 銀——西洋貨幣、メキシコ弗 |
| 洋 葱——西洋葱 | 洋 藥——特に阿片 |
| 洋 燈——ランプ | 洋 紗——西洋モスリン |
- 但し洋の字をつけたものには、日本の貨物をさしたのものもある。例へば「洋銅」といつて日本銅の義となすが如し。
- の類、又は西洋の國名を冠して以て西洋傳來の義を表はして居るもの、例へば
- | | |
|-----------|------------|
| 荷蘭水——曹達水 | 荷蘭薯——西洋馬鈴薯 |
| 荷蘭豆——西洋豌豆 | 俄 呢——露西亞更紗 |

「荷蘭」の名は和蘭一國のみでなく、歐洲諸國の概稱となることもある。「倭扇」「絨倭」「回々葱」「波斯棗」等の國名の場合には自ら別である。

の類并に化學の原素及び諸礦物等の西洋語に對して新製せる音標的漢字譯名、例へば、

- | | |
|---------------|-----------|
| 氫——Argon | 氦——Neon |
| 鈾——Thorium | 鈿——Indium |
| 鉬——Molybdenum | 鋅——Zinc |

の類を以てすれば其數は、ずつと多くなるが、それ等は所謂通例の漢字音譯と自ら別なれば、今こゝには之を加へない。又「西紅杭子」とかいてトマトとするが如き方位によつて西洋の意味を表はすものも、今こゝには之を省略する。

左記列學の外來支那語を觀て、感ずることがある。

近世以前の支那と諸外國との交通によりて起りたる外國文物の傳來したるものを大觀するに、宗教と物産、特に植物及び植物より加工製造したるものゝ類多くして、其他の種類の文物は少ないが、近世以後の西洋文物の支那に傳來したるものゝ多種多様なは、左記の西洋語の漢字音譯が種々の

方面の事物に互れるを見て之を知ることが出来る。また本表の如き新譯音語が近世支那の圖書雜誌新聞紙上に多くあらはるゝは、近世支那に於ける西洋文化の影響の大なることを示すものと見てよろしいと思ふ。また本表の譯語の對比は、上記の如き意義に於て有用なるのみならず、近世以前の古代支那の外國語翻譯の考證についても参考となるべき點もないと思ふ。是等の意義あるが故に、此拙稿を記したのであります。

左記の諸譯語の各個につき、それ／＼之を説明すべき愚見あれども、そは他日にゆづり、今はたゞ語彙の表を主とし、場合によりて簡單なる説明を附記する。尙本表は左記の凡例によるものである。

イ、本表の語彙は概して近世支那に傳はりたるものにして、稀に近世以前に傳はりしものを併記す。

ロ、本表の諸語は大體頭文字の漢字の日本音の五十音順による。

ハ、本表の音譯語と其西洋原語との對比を十分に明にせんとせば、諸譯語の漢字の支那音を記入するの必要あれども、印刷の都合上、概して之を省略す。

ニ、本表の譯語の中には、其語の一部分のみが原語の音譯たるものあり。

ホ、西洋地名人名などの固有名詞及び西洋度量權衡の原語の支那音譯は、特殊のものゝ外、之を記載せず。

ヘ、本表は「斯文」第二篇第五號（大正九年十月一日發行）及びその別刷に於ても、之を發表したるものなれども、今回之を増補し訂正したるものなり。

ア 行 (二十二語)

亞	更	Organ
亞	孟	Amen
亞	門	同上
啞	叨	Arrack
阿	媽	Ama or Amah (葡萄牙語 Ama の原語により支那居留の西洋人が其

家庭の支那人の乳母を呼ぶ語にして、支那人の間にも行はるゝもので、阿媽港（澳門）の阿瑪とは別である。

愛康諾米

Economy (理財、生計、計學の如き意譯の支那語とともに上記の音譯を用ふること少からず)

愛耐而幾

Energy (また漢譯して儲能または勢力ともいふ)

愛内爾其

同上

愛克司光

X Ray

哀的美頓書

Ultimatum (或は我國の譯語によりて最後通牒と譯することあるも、上記の音譯を用ふること多し)

安那其

Anarchy

以太

Ether

以脫

同上

伊太

同上

威克烈

Weekly

威未酒

Vernouth

維他命

Vitamine

因士披里純

Inspiration

因制

Inch

烏託邦(烏托邦)

Utopia

燕梳

Insure, Insurance (此西洋語を意譯して保險又は保安となすとも、上記の音譯を用ふること少からず。例へば東京海上保險會社を

支那新聞には東京洋面燕梳公司と譯載するが如し)

翁斯

Ounce

カ行 (七十四語)

可々(可々粉)

Cocoa

柯々

同上

柯々子

Cocoa seed

夏兒敏

Carmin

加答兒

Catarrh

夏班

Company の省略訛譯

夏班烟

洋商輸入の阿片烟

夏班土

土は烟土または洋土の略にして、鄙語の阿片の義なり

加非 咖啡 珈琲

架非 Coffee

夏非豆

同上

加必且

Captain

呀蘭色

Crimson

呀蘭米

呀蘭は西班牙語の Grana (洋紅) の音譯にして、米は燕脂蟲の小虫

架利(加喇)

Curry (意譯して黄薑とも S 4)

加厘

同上

加論

Currant (一種の乾葡萄)

呀蘭米(紅色染料)

Grana (西班牙語)

珂羅版

Colotype

岳斗

God

海龍因

Heroin

改撒

Kaisar

角

Quarter の音譯省略

割

同上

甘巴尼

Company

幾何

Geometry の省略

喜林

Shilling

基利斯當

Christian (當の一字を以て此語の略稱となし、老當といへば老督基
教信者の義となすことなどあり)

基爾特

Guild

吉時

Custard

吉烈

Cutlet

薑啤

Ginger Beer 啤は即ち Beer の音譯なり

玉

Gib (英語、小艇の義なるが、廣東音 yik 客家音 uenik 福建音 enik などによることならんも、玉の一字を以て英語の gib にあてしは、頗る不穩當といふべし。玉人は通常神人、神女の義なるが、厦門、廣東地方にては船頭又は舟人の義となる。

金鷄那 金鷄納 金鷄霜

金鷄納霜丸

Quinine (霜の字はキニーネ藥劑の白粉末といふなり)

銀則

則 (廣東音 Cik) は英語の Cheque にあたり、銀則は即ち銀貨小切手なり

搗々

Cocoa

瓜、卦

ともに Quarter の略

公班衙 公班牙

ともに Company

公班烟 公班土

公班衙の烟土即ち洋商會輸入の阿片烟なり

公烟、公土

同上の省略

公臣

Consul (意譯は領事)

江臣

同上。公臣、江臣ともに廣東音は Kong-sun なり。領事は公務に従事する一國の臣にして、外國領事の任地多く江口又は江上の貿易港なれば、之を音譯するにも、意譯の如き公臣、又は江臣の字となしたるなり。

公司

公班衙 (Company) の公の字に司の字を加へて、一見本來の支那語の如くしたるものなり。

康白度

Compradore (意譯は買辦)

糖罷度

同上

糖擺渡

同上

剛白渡

同上

江北大

同上

江北

同上の省略

哈烏斯

House(此の字の如きは音譯の必要なからんに、新しがる支那人中には好んでかゝる音譯を用ふるものあり)

瓦斯

Gas(我國の音譯によるが如し)

甲必丹

Captain

考非茶

Coffee

香鞭

Champagne

紅蘿蔔

蘿蔔は希臘語拉典語の Rapa ならん

黃蘿蔔

同上

胡蘿蔔

同上參考

高根

Cocaine

殼酒

Huck

古素彼里噠

Gooseberry tart

勿黎達姆

Freedom

虎列拉

Cholera

克鹿卜

Krupp

サ 行 (二十四語)

查打 渣打 渣打

Charter (例へば查打銀行の如し)

賽因斯

Science

三道年

Santonin

三眉池

Sandwith

三鞭

Champagne

山蘿蔔

カ行の紅蘿蔔の條參照

士加士加煙

Cigar

時
 之 時 餅
 之 古 辣
 司 林
 司 連
 沙 里
 車 厘
 車 厘 罷 爛 地
 遮 厘 噠
 諸 古 聿
 初 高 辣
 臣

Cheese
 Cheese cake
 Chocolate
 Shilling
 "
 Sherry
 "
 Sherry Brandy
 Cherry tart
 Chocolate
 "

公臣または江臣 (Consul) の略なるが、支那文の中にあつては甚だま
 ぎらはしき音譯なり

寸 (福州)
 生
 占
 占
 占
 仙
 先 士
 先 令
 煎 酒
 然 根 光 線
 蘇 維 特
 則

Cent
 Centi (四十二生砲といへば四十二センチ砲の義なり)
 Cent
 Jam
 Jam tartlet
 Cent
 Cents
 Shilling
 Gin
 Röntgen Rays
 Soviet (例へば蘇俄といへばソイヴエツト露西亞といふが如し)
 Cheque (カ行の銀則の條参照)

タ 行 (三十三語)

多時 哆時
打臣、打
打 拉
他 拉
大 羅
大臣、大

題非尼荷
題 文
噠 條
諾 脫

Toast
Dozen
Dollar

Dozen (三大、五打といへば即ち三ダズン五ダズンの義なり。されども大臣の二字を以てダズンの音譯となすが如きは頗る不穩當といふ)(29)

Definition
Tart
Jamtartlet
Knot

(題文の二字音譯と意譯の混合なるべし)

托辣斯
坦 臣
坦臣噠
坦臣布顛
淡巴菴
扭 脫
窒扶斯
丁 幾
提子布顛
底也迦 底野加

Trust
Danson
Danson tart
Danson pudding
Tobacco
Neuter (又意譯して中立とも云ふ)
Typhus
Tincture

Raisin 即ち乾葡萄を訛りて音譯して葡提子または菩提子といひ、更に略して提子といひ、之に布顛の二音譯字を加へて Raisin pudding となすなり。

Theriac (此語は既に舊唐書第一百九十八卷の拂菻傳に見え、此藥劑中に阿片を含有するによりて、阿片喫烟の惡習は、すでに唐代の昔

不知不識の間に支那に浸入せりといはるゝものなり

Nous (Gr)

Deus (Port)

Telephone

Tapioka

基利斯當(Christian)の省略、カ行参照

Democracy

Telephone

ナ 行 (五語)

Vice Consul (第二の江臣、即ち副領事の義、カ行の江臣、公臣の條

参照)

Nicotine

Lemon

奴 斯

陟 斯

參 釐 風

答 比 阿 架

當

德 謨 克 拉 西

德 律 風

二 江 臣

尼 枯 汀

蔞 禪

檸檬水

檸檬糖

ハ 行 (六十八語)

波、 玻

ともに Ball (鐵砲の彈丸、球突の球などをいふ。波、玻二字の支那音 po or po なれども、これを以て Ball となすは頗る不穩當なり

Porter or stout

Poached egg (波の支那音 po を以て poached を簡畧に音譯したる

なり)

Patriarch (此語は既に舊唐卷一百九十七の拂菻傳及び新唐書卷二百

二十一の下の拂菻傳にもシリヤ語として傳來せり)

Bolshevism

Port wine

Porter

波 多 力

波 希 米

巴 酒

巴 帶

波 打

波 蛋

巴 菰

淡巴菰の略

巴 禮

Padre (Port. and Sp.) 例へば、巴禮院といへば基督教會堂の義となるが如し。

巴力門 巴厘滿

Parliament

吧嗎油

Balsam figures の油

梅 噠

Plum tart

伯里璽天德

President

伐烏林

Violine

發 藍

Fränk の訛譯音譯にして明末渡航の葡萄牙人をかくよべり。

發 克

Puck

班 布

公班衙 (Company) 輸入の布、即ち上金巾の義なり。

飯布顧

Rice pudding

番皮主義

Fabianism (意譯して遷延主義ともいふ)

般

Ball

般 屋

Ballhouse

啤、啤酒

Beer

皮 酒

..

批阿那

Piana

彌 撒

Missa

罷湖地

Brandy

非羅沙非

Philosophy

斐錄所費亞

Philosophia

品

Pin

品 海

Pinhead (西洋捲煙草)

氷吉零

氷忌廉

氷其冷

氷淇淋

四語とも Icecream

布爾塞維克主義

Bolshevism

布 頭

Pudding

幅 土

Foot

佛郎機 佛狼機

Fr nght or Franks 初期渡來の葡萄牙人及び西班牙人をかくよべり。
又西洋銃の義にも用ひたり

佛郎克

Franc

佛 蘭

Flannel

葡 萄

Botrus (Gr)の省略音譯

葡都魯 葡都魯球

”

普魯臺司特

Protest

米 突

Metre

別 力

Penny

別勒主義

Bureaucracy

辨士 辦士

Pence

便尼 邊尼

Penny

法 法貨

Franc

磅

Pound

棒

”

封 度

”

法 敦

Fathon

珞 琅

上記の發藍と同じ

撲 克

Puck

菩提干

乾葡萄の訛稱にして菩提は即ち上記の葡萄の轉訛なり

本 斯

Pence

本 內

Penny

本 納

”

砵酒

Port wine

凡阿林

Violine

▼ 行 (十八語)

麻札

Mother

摩托

Motor (摩托車とSへば即ち Motor car なり)

摩登

Modern

摩托車

Motor car

馬占馬砧

Merchant

嗎啡

Morphinae

瑪八

Mappa (Lat) 現代學術的新陸地圖を瑪八といひ、以て海圖及び支那風の舊地圖と別つものあり

未士

Mister

邁路

Mile

曼邦

孖菰烟

Manna 美食、甘露の義なるも、甘露と意譯すれば、支那史上の甘露と混同し易きが故に、かくの如く音譯す。他の例を以ていへば、涅槃を意譯して烏有とせば、則ち索然無味となるが如し。
淡巴菰(タバコ)の畧語たる巴菰の音を轉じて孖菰とし、烟草の烟の字を加へたるものなり

Merchant

Minim

Mincied(切碎の義、本邦人のメンチボール Mincied ball とSへ西洋料理のメンチなり)

Monroe Doctrine

Mauser rifle (鎗の字、今の支那語にては我國の銃の義なり)

Medicina

Monroe Doctrine

孟祿主義

毛瑟鎗

默第濟納

們羅

ヤ 行 (一語)

耶蘇 Jesus

夜哈 Leilao (葡萄牙語にして競賣の義なり)

ラ 行 (二十七語)

羅輯 Logic (或は意譯して名學といふ)

喇楂 Rajah

喇提諾 Latina

蘿葡 Rapa

囉啤 Rupce

刺戾龍 Ladrone (葡萄牙語にて海賊の義)の訛りたる音譯なり。

辣定 Latin

拉體諾 拉體納 Latin

臘頂話 Latin

臘定

臘丁

來扶 來福 來復 來富 四語ともに Rifle の音譯にして、或は各鎗の字を加へて以てライフ

ル(拳銃)の義とす

Life Member

來福美伯 Renaissance (或は意譯して文藝復興ともいふ)

李奈桑斯 葡萄牙語 Leilao の略、ヤ行の夜哈の條参照

嚟 嘯 Liberty

立白的 Rum

林酒 咁酒 Aloe(Gr)

盧會 Rapa(Gr)

盧比 Rupce

勒鐸理加 Rhetorica

以上の音譯諸語は、皆近世支那の史籍、及び現代の支那の雜誌新聞、並に一般の圖書に記されたるものである。元來外國語の採用に當りては、梵語のニルヴァーナ(Nirvana)を採用せんとしたる古代支那に於て所謂有翻家と無翻家とありて、前者は之を意譯して、寂滅、圓寂、解脱、無惱、無爲、寂靜、安穩などとし、本來多含多義の梵語なれば、三十餘の譯語を生じたけれども、到底其原語の如き意味を含有せざるを以て、つひに音譯して涅槃とした。現代の我國に於て、西洋語を採用せんとするにも、ロンドンテニスの如き、或は原語發音のまゝに用ひ、或は義譯して庭球といひ、ベースボールは或は原語のまゝにし、或は野球と義譯し、マツチの如き、初めは摺附本などの譯語ありしも、今は原語のまゝに通用し、ガス、ランプ、ガラスなどの原語の發音のまゝに用ふるもの、一々枚舉し難き程多數である。

近世及び現代支那に於ても、西洋語を採用するため、或は之を意譯して、支那の語文に渾然同化せしめんとするもの固より少くないけれども、支那風に意譯しては、或は其原義を明にせず、或は其原義を害することあるが故に、原語のまゝに音譯するを便とし、且つ之を以て學術に忠實なるものなりと思惟するものあり。故に本表の如く西洋原語のまゝ音譯せるもの頗る多し。されども本表

欠

欠

393
756

終

